

活動報告



くらしとバイオプラザ21 総会記念講演

「母子手帳の魅力～世界に広がり、アジア、アフリカから学ぶ」

2016年5月19日、銀座フェニックスで開催したくらしとバイオプラザ21総会記念講演会、今年は大阪大学大学院人間科学研究科・中村安秀氏（特定非営利活動法人 HANDS 代表）を講師にお迎えしました。講演に先立ち、東大観世会の同期である正木春彦・くらしとバイオプラザ21副代表より、中村講師紹介がありました。

講演では、発展途上国で小児科医として研修をされた中村氏のご経験とともに、母子手帳の歴史、母子手帳の働きについて知り、母子手帳を通して見えてくる人々の健康や幸福について考える一時となりました。乳児死亡率は重要な国ごとの保健指標のひとつであり、母子手帳のコンセプトは継続ケアにあり。妊娠中から母子共通で継続的に使うのは、日本の世界的な発明！日本では2世代母子手帳もできる環境が整っており、日本の母子手帳の優れた面、そしてそれを有効活用する日本人の保健意識の高さをあらためて認識したお話でした。



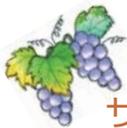
中村さん



正木副代表



会場の様子



サイエンスアゴラ 今年も参加します！
今回のテーマは機能性表示食品です。

お申込みを
 お待ちしております！

2013年にくらしとバイオプラザ21がサイエンスアゴラ賞を受賞したサイエンスアゴラに、4年連続で参加し、シンポジウムを開きます。

今年は「**機能性表示食品制度が始まって1年半**」として、機能性表示食品について様々な立場のみなさんで意見交換する場としました。この制度をどのように利用していけば良いのか、みなさんで考えていきたいと思っております。みなさまのご参加をお待ちしています！

日時：2016年11月6日（日）13:30～15:00

場所：産業技術総合研究所臨海副都心センター別館11階会議室2・3（サイエンスアゴラC会場）
 （東京都江東区青海2丁目4-7 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車徒歩3分）

話題提供：

阿南 久さん

（消費者市民社会をつくる会〔ASCON〕代表理事）

武田 猛さん

（株式会社グローバルニュートリショングループ 代表取締役）



阿南さん



武田さん

主催：NPO 法人くらしとバイオプラザ21

参加申込方法：当日も受付ますが、できるだけ事前申し込みをお願いします。

参加希望者はくらしとバイオプラザ21ホームページより、
 トップページ右上の「オリジナルイベント - 11月6日のイベント名をクリック→
 イベント案内中の「申込みサイト（<https://ws.formzu.net/fgen/S70306882/>）」
 からお申込みください。

2016年3月8日 コンシューマーズカフェ「新規技術のリスクにどう向き合うか～ナノテク、ロボット、食品～」

東京大学公共政策大学院・岸本充生さんをお迎えして、第18回コンシューマーズカフェを開催しました。安全性の確保、基準の決め方、リスクの捉え方などについてお話いただき、参加者からはこれらの理解が進んだという意見が多くあり、レギュラトリーサイエンスの重要性を改めて感じました。岸本先生はイギリスにおける消費者の「Ask for evidence」の活動を紹介、今後、日本でも消費者が疑問に思ったら、行政等に安全性の根拠とエビデンスを求めることが大事になってくるだろうと指摘がありました。



2016年5月20日 ifia Japan 2016「遺伝子組換え作物・食品のリスクコミュニケーション」



第21回国際食品素材/添加物展・会議 (ifia2016) へ出展しました。今回は明治大学農学部・中島春紫さんを講師に迎え、セッション「遺伝子組換え作物・食品のリスクコミュニケーション」で、遺伝子組換え食品の表示と安全性確認、ゲノム編集など新しい育種技術への対応と課題などについてお話を伺いました。食品メーカー、分析会社、行政など多くの方が参加しました。

2016年7月27日 つくば夏の遺伝子組換え植物・作物・カイコ見学会

今年の夏のバス見学会では、最初に農研機構 第4事業場 高機能隔離ほ場を見学し、農研機構 広報課・栗山朋子さんより農研機構の概要説明をいただきました。その後、生物機能利用研究部門・小松晃さんから「遺伝子組換え作物の開発について」を、小島桂さんから「遺伝子組換えカイコの開発について」を、そして場所を移し筑波大学遺伝子実験センターでは同大生命環境系・小野道之さんより遺伝子組換えについて全般的なお話と、それぞれ講義をいただきました。今回はこれまでにない高校生、中学生の参加者数が多く、平均年齢のもっとも若い見学会になりました。



2016年7月22日 コンシューマーズカフェ「機能性食品を評価して」



一般社団法人 消費者市民社会をつくる会 (ASCON) ・阿南久氏をお招きし、第19回コンシューマーズカフェを茅場町くらしとバイオプラザ21事務所で開きました。2015年4月から走り出した機能性表示食品制度により届け出が行われた食品に対して、ASCON 科学者委員会が評価を行ったことが紹介されました。最後に、診断、治療、予防を目的とすべきではないが、国民が求めるのはそういったものであり、予防というとこれを食べていると予防できると信じてしまい、本当に病気になったときに危険であり、誤認を導く恐れがあることが今後の課題であるとして、お話し締めくくりとされました。

【刊行物紹介】「メディアの方に知っていただきたいこと」三部作合本版が完成

これまでに配布した「知っておきたいこと」の遺伝子組換え作物・食品、農薬、食品添加物の「三部作」について、情報を更新し、一冊にまとめました。くらしとバイオプラザ21のホームページ、画面右側「発行物のご案内」からダウンロードすることができますので、ご活用ください。



バイオフィェのこの頃



2月13日 三鷹ネットワーク大学
株式会社カネカ QOL 事業部・細江和典さん
「高齢社会と機能性食品 一口腔機能改善への応用ほか」



3月11日 茅場町サン茶房
農業生物資源研究所・立松謙一郎さん
「カイコでくすりがつくれるミライ」



4月15日 茅場町サン茶房
筑波大学・大澤良さん
「サクラソウ 武士が育てた園芸品種」



5月27日 東京テクニカルカレッジ
農研機構 生物機能利用研究部門・小松晃さん
「遺伝子組換え作物が国内に入り 10年以上が過ぎた現在の状況、そしてこれからどうなるの？」



6月17日 茅場町サン茶房
SBI ファーマ株式会社・田中徹さん
「生命の根源物質 5- アミノレブリン酸」



6月25日 くらしとバイオプラザ 21
管理栄養士・道良寧子（成田嵩信）さん
「どらねこカフェー管理栄養士パパの親子の食育 BOOK 番外編ー」



7月1日 三鷹ネットワーク大学
アサヒビール株式会社・佐々木克哉さん
「わくわくビールセミナー」



9月9日 茅場町サン茶房
株式会社免疫生物研究所・富田正浩さん
「カイコの繭からコラーゲン？
ー物質生産工場という新蚕業を目指してー」

これからのバイオフィェ

秋以降もたくさんのバイオフィェを企画しています。ここで紹介しきれない企画については、今後詳細が決まり次第、くらしとバイオプラザ21のホームページでご案内していきます。お問い合わせのうえ、お気楽においで下さい。

会場により事前申込みの有無、参加費が異なります。詳細はくらしとバイオプラザ21のホームページ「バイオフィェ開催予定」(<http://www.life-bio.or.jp/biocafe/>)をご覧ください。

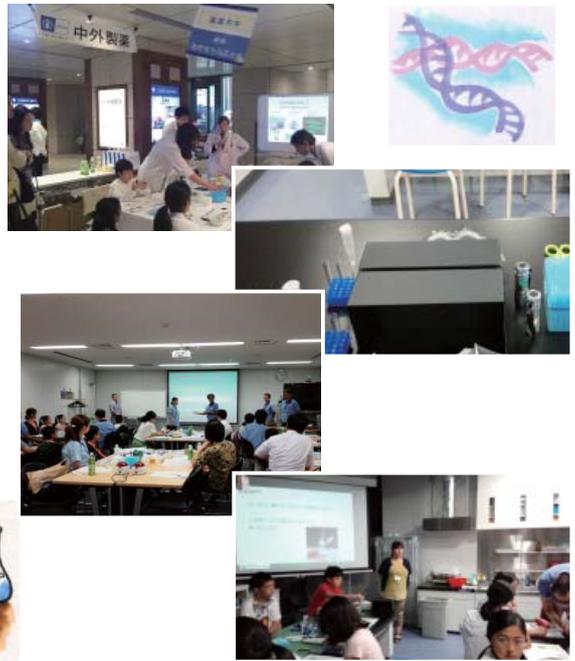
- 10月7日（金）SMBC パーク栄／水産研究・教育機構 増養殖研究所育種研究センター・正岡哲治さん
「魚のバイオテクノロジー ー新しいブランド魚の開発を目指してー」
- 10月9日（日）千葉市科学館／農研機構 野菜花き研究部門・佐々木克友さん
千葉市科学フェスタ 「世界にひとつだけの花～先端技術で創り出されるステキな品種～」
- 10月30日（日）名古屋市科学館／農研機構 生物機能利用研究部門・小松晃さん
「新しいおコメをもとめて～従来育種からゲノム編集まで」
- 11月5日（土）千葉県立現代産業科学館／くらしとバイオプラザ21・笹川由紀
「蚕の“新しい”生きる道～衣料だけでなく医療にも～」
- 11月11日（金）茅場町サン茶房／第一三共ヘルスケア株式会社・西田良介さん
「健康の入り口はお口から。ー歯周病予防についてー」
- 11月25日（金）東京テクニカルカレッジ／東京農工大学 遺伝子実験施設・丹生谷博さん
「遺伝子組換え技術の進歩と GM 食品」



中外製薬バイオ実験教室報告

中外製薬株式会社 CSR 推進部の皆さまと、いろいろな所でこどもたちと楽しい実験教室を開きました。毎年、楽しみに来てくださるボランティアの社員の方のアドバイスを頂いたり、内容も年々、進化しています。

- ☆ 5月 14・15日 わくわくワーク体験日本橋キッズタウン
「中外製薬キッズバイオラボ」(日本橋)
- ☆ 7月 23日 中外製薬 presents 生物実験教室
「遺伝子って何だろう」(科学技術館)
- ☆ 7月 31日 中外製薬 presents 生物実験教室
「光るタンパク質の不思議」(科学技術館)
- ☆ 7月 29日 こども参観 2016 in ちゅうがいうきま
「遺伝子って何だろう」
(中外製薬工業株式会社 浮間事業所)
- ☆ 8月 7日 キッズバイオラボ
「身近な食材から DNA を取り出そう」
(ぐんまこどもの国児童会館)



学会等での発表

- 3月 21-22日 第129回日本育種学会講演会(ポスター発表) 横浜市立大学
 くらしとバイオプラザ 21 は参画している内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム・次世代農林水産業創造技術」での活動成果として新しい育種技術に関する社会とのコミュニケーションについて、「一般市民との信頼関係構築に向けた NBT に関するコミュニケーション」というタイトルのポスター発表をしました。発表当日には多くの参加者と議論することができ、研究者の間でも NBT に関するコミュニケーションの興味関心の高さをうかがえました。
 なお、この発表は本講演会前に行う、注目の研究成果を紹介するプレスリリースの題材に選んでいただきました。また、その後いくつかのメディアに取り上げていただきました。

講師派遣報告

- 4月 16日 千葉大学 千葉授業づくり研究会 講演
- 5月 30日 東京大学 「生命倫理」 講義
- 6月 6日 筑波大学 「サイエンコミュニケーション実践講座」 講義
- 8月 26日 東京大学 食の安全研究センター サイエンスカフェ



会員募集中!

私たちの活動を応援して下さる協力(個人)会員(1口 2,000 円~)を常時募集しています!
 イベント参加費がお安くなります。(イベントによる)イベント情報やこのバイオレター(年 2 回発行)を優先的にお届けします。



<編集後記>

厚生労働省で昨年 11 月から行われていた「ゲノム情報を用いた医療等の実用化推進タスクフォース」が 7 月に終わりました。より良い医療、健康増進のための意見がたくさん出てきました。その中心は「国民のゲノムリテラシー(遺伝情報を適切に使いこなす能力)の醸成」でした。これはくすりの副作用や遺伝子組換え食品などに関する冊子をつくったり、社会人向け実験教室を開いたりして、みなさまと一緒にやってきた私たちの活動そのものと重なっており、活動の方向性は間違っていなかったのだと思いました。私たちはこのことから勇気を得て、これからも様々な活動を通じ、DNA という切り口から倫理のこと、安全性のことを共に考え、話し合っていきたいと思います。

編集: 佐々義子・笹川由紀・二瓶美郷、カット: 中村典子



〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3 日宝茅場町ビル 8 階
 電話: 03-5651-5810 FAX: 03-3669-7810 e-mail: bio@life-bio.or.jp
<http://www.life-bio.or.jp>

